

「小さな親切」作文コンクール 知事賞

かかとぴったりにいいきもち



始良市立蒲生小学校 一年

いぶすき けいじゅ

「おはよう。きょうもかかと
ぴったりにいいきもち。」

ぼくは、まいあさがっこうにつ
いたときいいきもちです。それは
シューズのズーくんがかかたとを
ぴったりそろえてぼくをまっ
てくれるからです。

にゆうがくしきのつぎのひ、た
んにんのゆきこせんせい
「くつならべのおべんきょうを
しましょう。」

と、おっしゃいました。ぼくは、
「くつならべなんて、ようちえ
んでしていたのに・・・。」と、がっ
かりしました。じをかいたり、た
しぎんをしたりするのをたのし
みにしていたからです。

くつばこにいくと、せんせいが、
「さんねんせいのくつと、みん
なのくつのまちがいがしをし
ましょう。」

と、クイズをだされました。ぼく
は、「どこがちがうんだろう。」と
おもいました。さいしょは、わか
りませんでした。でも、よくみて
みると、さんねんせいのくつは、
きをつけのかたちにならべてあ
りました。ぼくは、もうひとつ、ま
ちがいをみつけました。さんねん
せいのくつは、かかとがくつばこ
のはしに、ぴったりそろえてあり
ました。

ぼくも、さんねんせいのくつと
おなじならべかたをしてしまし

た。なんだか、とてもいいきもち
です。きゅうにさんねんせいに
なつたみたいで、うれしくなりま
した。

それから、ぼくのくつならべ
は、かわりました。まいにち、どん
なにいいきもちでも、かならずくつを
きちんとそろえてならべました。
つぎにはくときに、きもちがいい
からです。

このまえ、かえろうとしたら、
とうまくんのくつがしたにおち
ていました。ぼくは、とうまくん
のくつをひろって、くつばこにい
れました。とうまくんにはきやす
くしてあげたかったからです。そ
のとき、こころがふわっと、あた
たかくなりました。

ろくがつに、くつがかりのれん
とくんと、まさきくんが、
「くつならべチャンピオンは、
けいじゅくんです。」

と、みんなにいいました。ぼくは、
「やったあ。」と、うれしいきもち
になりました。

ぼくは、くつならべチャンピオ
ンになってからも、くつならべを
つづけました。

一ねん一くみのくつは、ひとつ
もくつばこのしたにおちていま
せん。ぼくもみんなもきをつけ
て、くつをならべているからで
す。くつがかりのふたりも、まい
にち、みんなのくつばこをきれい
にしてくれています。

しょうくんのくつも、あやかさ
んのくつも、いつもかかたがぴっ
たりそろっていて、きれいなら
んでいます。くつならべチャンピ
オンは、どんどんふえていきまし
た。

ぼくは、くつをいつも、きれい
にならべていたら、きもちがいい
ことをみんなにおしえたいです。
「かかとぴったりにいいきもち。」

「小さな親切」運動県本部では
児童生徒が素直に親切体験などを
書くことにより、親切な心を育み
豊かな心情を深めることを目的
にして毎年「小さな親切」作文
コンクールを実施しています。
第34回目となる今年度は45校
から2199点の作品がよせら
れ、審査の結果、入賞者が決まり
ました。